

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	80
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴	無			
事務事業名	地域交流型シェアオフィス事業					
予算科目	2 款 1 項 10 目					
予算事業名	空家活用事業費					
総合計画での位置づけ						
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	佐伯 栞	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	事業者(新規起業者等)及び住民					
事業の目的	<p>本町は、計画的な土地利用を推進する事で、緩やかに人口増加を図ってきた。しかし、土地開発を制限する事で、高齢化率は、周辺自治体より高く、世帯当たりの人員は年々減少し、核家族化が進んでおり、地域における産業(商工業・農業)の衰退と空き家の増加(H27年99件)等の課題を生み始めている。これらの課題解決に向け、2018年度に猪野地区の所有者から寄付を受けた空き家を地域交流型シェアオフィスとしてリノベーションし、起業者等の利用を促進する事で、将来的に、町内における移住・起業等の増加に繋げ、地域活性化を目指す。また、交流イベントや施設の住民利用を促進する事で、移住者受け入れの風土や空き家の活用意識を高めると同時に、空き家情報等の集約化も図る。</p>					
実施期間	開始年度	平成 30 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	空き家を活用した情報交流拠点として、住民への空き家に対する関心や施設の認知度向上を図るためワークショップ等を開催する。					
目的達成の指標	オフィススペース利用者数(総数8区画)					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	区/年			5	3
実績	区/年		4			
指標設定の考え方	オフィススペース利用者数					
事業遂行時懸案事項等	<p>空き家は、表に出てきていない物件が多く、その背景には、借りたいと思っている人の顔が見えないことや、改修費用などが負担となり放置されている等の問題が考えられる。そのため、新たな人材を呼び込むだけでは空き家の活用は進まない状況であり、新たな価値や可能性を町民に示していく事が必要となる。</p>					
事業実施時懸案事項対応等	<p>空き家を起業や地域資源発掘のための交流拠点とした取り組みを積極的に展開すると同時に、地域への認知度向上を目指して、町民利用の推進や利用者と住民とがコミュニケーションを促進する事業を行う事で、地域住民の利用者に対する安心感につなげていく取り組みを実施する。</p>					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 409 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	0.20
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,470	1,511	1,427	1,427
事業費	直接事業費	12,938	2,154	1,150	1,150
	人件費	1,470	1,511	1,427	1,427
	合 計	14,408	3,665	2,577	2,577
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他			1,020	1,920
	一般財源	14,408	3,665	1,557	657
	合 計	14,408	3,665	2,577	2,577

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	12,938	2,154	1,150	1,150	500
実 績	12,842	994			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
ワークショップの開催	回	3	3	3	3
		3	(交流会)2		
認知度向上イベントの開催	回	1	1	1	1
		1	6		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 287 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	1,437	1,511	1,578	
事業費	直接事業費	12,842	2,154	994	
	人件費	1,437	1,511	1,578	
	合 計	14,279	3,665	2,572	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,020	0	1,020	
	一般財源	13,259	3,665	1,552	
	合 計	14,279	3,665	2,572	

実施備忘録

自己評価	評価者	佐伯 葉
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

本事業は、現在増加傾向にある移住、起業等のニーズに対し、今後、益々増加する空き家問題への連携につながる重要な事業だと考えている。また、町内における起業等が増加することにより、地域における暮らしへの影響(サービス業の増加、雇用増)も将来的に期待される。「そらや」の仕組みや活用内容等は、交流会やイベントを通して町内外へのPRができており、テレビや新聞等のメディアでも取り上げられている。また、開設から半年で、大企業をはじめとする100名以上の視察者が訪れており、地域の問題が話題へと変わり始めている。空き家の寄贈者であった方が東京から訪れ、喜びの言葉をいただく機会や、町民の方より空き家の活用してみたい等の相談を聞くこともあり、徐々にではあるが効果が実感できている。利用者が町内の空き家を活用して事業を展開する等の次のステップを見据えながら、継続的に行っていききたい事業である。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

「そらや」が本格的に利用開始するにあたり、オフィススペース利用者と住民との交流会を全3回実施。また、利用者の方々が、空き家に関わる事業だけでなく、他事業(映画祭等)にも積極的に参画して下さることで、交流会以外でも住民の方との交流の機会を創出できている。情報発信については、「そらや」を拠点に繋がった縁により、10月から半年間(計5回)のマルシェを実施し、約20事業者(個人事業者も含む)が参画した。地域の方はもちろん、町外の方にも訪れていただき、取り組みを知ってもらう機会となっている。地域住民のニーズについても、信頼関係を築きながら、少しずつ聴取できている。「そらや」で展開している事業は企画や費用等、利用者間で創意工夫して実施されており、話題性、注目度から見ても、本町における費用対効果は高い。今後は、地域住民のニーズの把握や移住ニーズの把握等を行なっていくための継続的な交流活動の実施や仕組みづくりが求められる。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口をチェックしてください。		
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	A
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

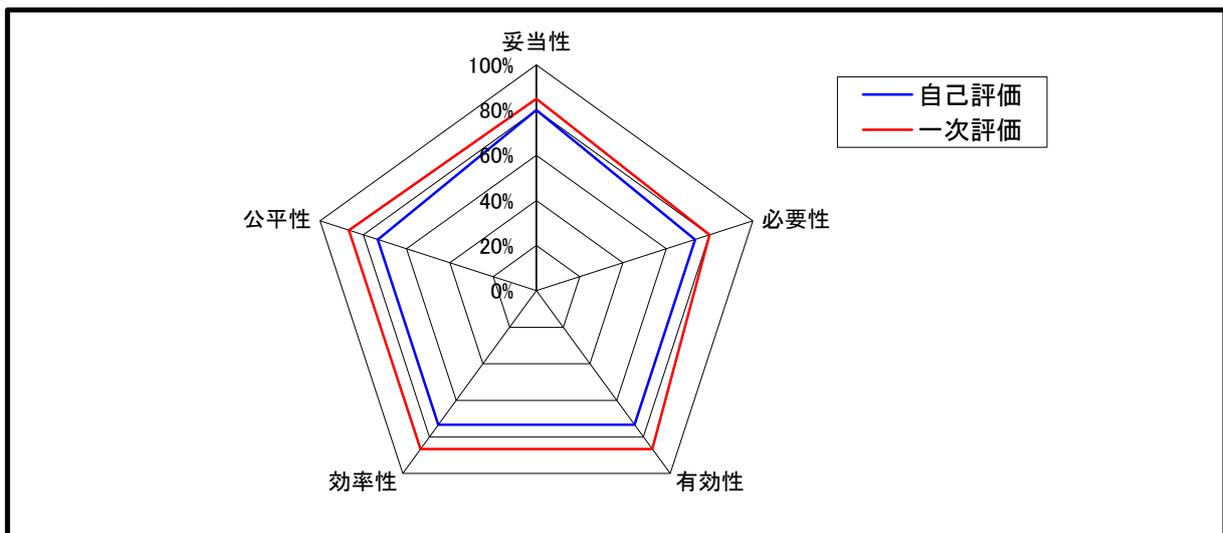


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

オフィスについては、4者の定期利用申し込みが行われた。又、地域交流の観点から、オフィス利用者が主催し、近隣の住民の皆さんや高齢者グループ等の様々な団体との交流会も実施された。町内外の交流としては、毎月1回のマルシェが開催され、交流人口の増加を図る事ができた。この取り組みの影響により、空き家の活用や起業相談の件数も増加傾向となっており、引き続き、創意工夫した取り組みを実施する事が必要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	川上 克彦
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

地域の方々の応援が活力になっている。今後、地域と利用者の協働が発展することを期待する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--